

公庫出融資 1兆超

2006～15年度累計

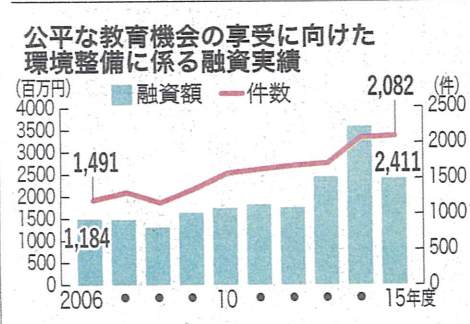
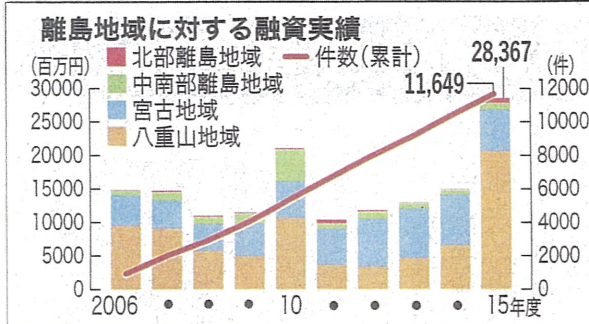
離島に1505億円

沖繩振興開発金融公庫（川上好久理事長）は31日、2016年度の政策金融評価報告書を発表した。2006年度から15年度にかけて、沖繩公庫の出融資の累計は5万7228件、1兆850億円に上った。年度別構成比では、観光、情報通信、農林水産業などを含む「リーディング産業」と地場産業が好循環構造を持つ経済の構築に係る実績が件数、金額とも高い割合を占めた。15年度末のリース管理債権額は590億円で、債券比率は7・36%となった。

毎回設定する特定テーマでは過去10年間の離島地域での融資実績を分析した。06～15年度の県内離島への出融資累計は1万1649件、1505億円に上った。沖繩公庫の出融資実績累積に対して、件数は全体の20・4%を占め、金額は13・9%だった。直近の15年度は、観光ホテルの建設が相次ぐ八重山地区が最多で、出融資額は205億9900万円に上った。

県が策定した沖繩21世紀ビジョン基本計画に対する沖繩公庫の分野別貢献状況は、世界水準の観光リゾート地の形成に係る「沖繩観光リゾート産業振興貸付」の融資実績が、直近10年間で113件、1124億3900万円に上り、雇用創出効果は2603人となった。教育資金を中心とする「公平な教育機会の享受に向けた環境整備」は過去10年間で1万5653件、197億円に上った。

（川上好久理事長）は31日、2016年度の政策金融評価報告書を発表した。2006年度から15年度にかけて、沖繩公庫の出融資の累計は5万7228件、1兆850億円に上った。年度別構成比では、観光、情報通信、農林水産業などを含む「リーディング産業」と地場産業が好循環構造を持つ経済の構築に係る実績が件数、金額とも高い割合を占めた。15年度末のリース管理債権額は590億円で、債券比率は7・36%となった。



平成29年2月1日
提供：琉球新報社
無断での転用・複写等を禁じます

10年間の出融資 沖縄公庫が報告

「地場産業」4割超

沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）は31日、2006年度から15年度までの10年間の出融資実績をまとめた「政策金融評価報告書」を発表した。沖縄公庫の出融資制度を、沖縄21世紀ビジョン基本計画に基づき7分野に振り分けた出融資額累計は、1兆8500億円（5万7228件）だった。観光と情報通信、農林水産業などを含む「リーディング産業と地場産業が好循環構造をもつ経済の構築」の分野が48669億200万円（最も多く、44・8%を占めた）。

「リーディング産業と」

の内訳では、新しい観光コンテナなど高付加価値型観光を推進する「沖縄観光リゾート産業振興貸付」が1124億3900万円、雇用効果は2603人と試算した。創業の資金を供給する「沖縄創業者等支援貸付」は592億9千万円、雇用効果68889人。東日本大震災で11年度の融資額は落ち込んだが、12年度以降は増加を続けている。

他の分野では、教育資金を中心とする「公平な教育機会の享受に向けた環境整備」が件数ベースで割合が増加基調だった。セーフティネット機能を持つ「雇用対策と多様な人材の確保」は08年度のリーマンショック以降に件数・金額とも急増したが、近年は景気回復で低下傾向がみえた。

平成29年2月1日

提供：沖縄タイムス社

無断での転用・複写等を禁じます